



登別市長 小笠原 春一

登別市は、太平洋に面し、支笏洞爺国立公園をはじめとする豊かな自然環境と多種多量の温泉に恵まれ、北海道有数の観光都市として発展してきました。

名湯・登別温泉には、全国から多くの観光客が訪れていますが、最近では中国や台湾などのアジア各国からの観光客も増え、国際色豊かな観光地として、にぎわいを見せています。本市では、この恵まれた自然や温泉などの資源をまちづくりに活かすとともに、『市民と行政による協働のまちづくり』を基本に、市民と行政が共に汗を流し、互いに喜びを分かち合える、個性豊かで魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

このガイドブックでは、観光をはじめ、力強く発展を続ける本市の姿や、まちの様子、市民と行政が一体となった取り組みなどを紹介しています。

観光の魅力や自然の美しさ、まちづくりに向けた市民の熱い思いにふれていただければ幸いです。



## 登別市章

力強く伸びる市の将来を表現したもので、登別の頭文字「の」を単純かつ明瞭化し、円内左右の空間は市勢伸長の二天基盤である工業、観光の意義を含め、中心の長三角形は限りなく躍進する登別市の発展を願ったものである。

## 登別市民憲章

わたしたちは 古い歴史と美しい自然に恵まれた登別の市民です  
ここに わたしたちの心がまえを定めてよりよいまちをつくることに努めます

- 一 心身をきたえよく働いて 活気あふれる豊かなまちをつくりましょう
  - 一 親切をつくし きまりを守って 明るく住みよいまちをつくりましょう
  - 一 自然を愛し 力をあわせて 緑と空気と太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう
  - 一 未来をつくる青少年の 健全な夢の育つまちをつくりましょう
  - 一 教養をつみ 視野を広げて 平和で文化のかおり高いまちをつくりましょう
- 制定 昭和43年9月20日



登別市の花 キク



登別市の花木 ツツジ



登別市の木 プラタナス

